

2024年4月30日

2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 立川市吹奏楽交流会

代表者・役職名 氏名 堀内弘敦

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

～ 大好きなまち立川 ～ たちかわ吹奏楽フェスタ

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

12年間にわたる立川市文化協会主催による吹奏楽フェスティバルが好評を得ていましたが、文化協会にての主催事業が中止になったことから、惜しむ声が多く、同様のフェスティバルを継続するために、当時のコンサートスタッフを中心に新たな任意団体を設立しました。創設は2020年4月、現在会員数は18名です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

市内の中学校全校に吹奏楽部があり、音楽専門の国立音楽大学もあることから、小学校、中学校、高等学校、大学、一般までの幅広い年代の吹奏楽愛好者が集える環境にある立川市の特徴を活かし、小学生から社会人まで幅広い年齢層に親しまれている吹奏楽を通じての世代間交流や地域コミュニティの振興を目的としています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当交流会の会員及び立川市内の吹奏楽関係者を中心に企画・運営を行ない、一般市民や音楽愛好者を対象とした「たちかわ吹奏楽フェスタ」を11月26日(日)、たましん RISURU 大ホールにて実施しました。立川市内の小学校3校、中学校6校、高等学校1校の吹奏楽部、一般の吹奏楽団2団体の出演によるコンサートに多くのお客様が来場され、用意したプログラムが途中でなくなるほどの盛況にて終了しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

12団体の参加があり、特に中学校は市内9校のうち6校が出演、3校による合同演奏も行われ、貴重な交流の機会となり、また、小学校も3校が参加して元気あふれる演奏を披露しました。各出演団体の特色のある演奏に、最初から最後まで聴いていただいたお客様も多く、来場数約1,100名の内アンケート回答数は240枚もあり、大変良かったとの感想が大多数を占め、今後もぜひ継続してほしい事業との高評価をいただきました。各出演団体の生徒たちも久しぶりの外部での演奏、また大きなホールでの演奏にて楽しく、貴重な体験ができたとの感想が多く寄せられました。また、多くの団体が他団体の演奏を聴いていただき、当交流会の趣旨である世代間交流の場となり、有意義な事業となりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

各出演団体及び来場者からも大変良かったとの感想が多く、皆様方からのご意見・ご感想を参考に、今後も事業を継続・発展していきたいと思っております。費用面等を含め、更なる改善を図りたいと思っております。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください

